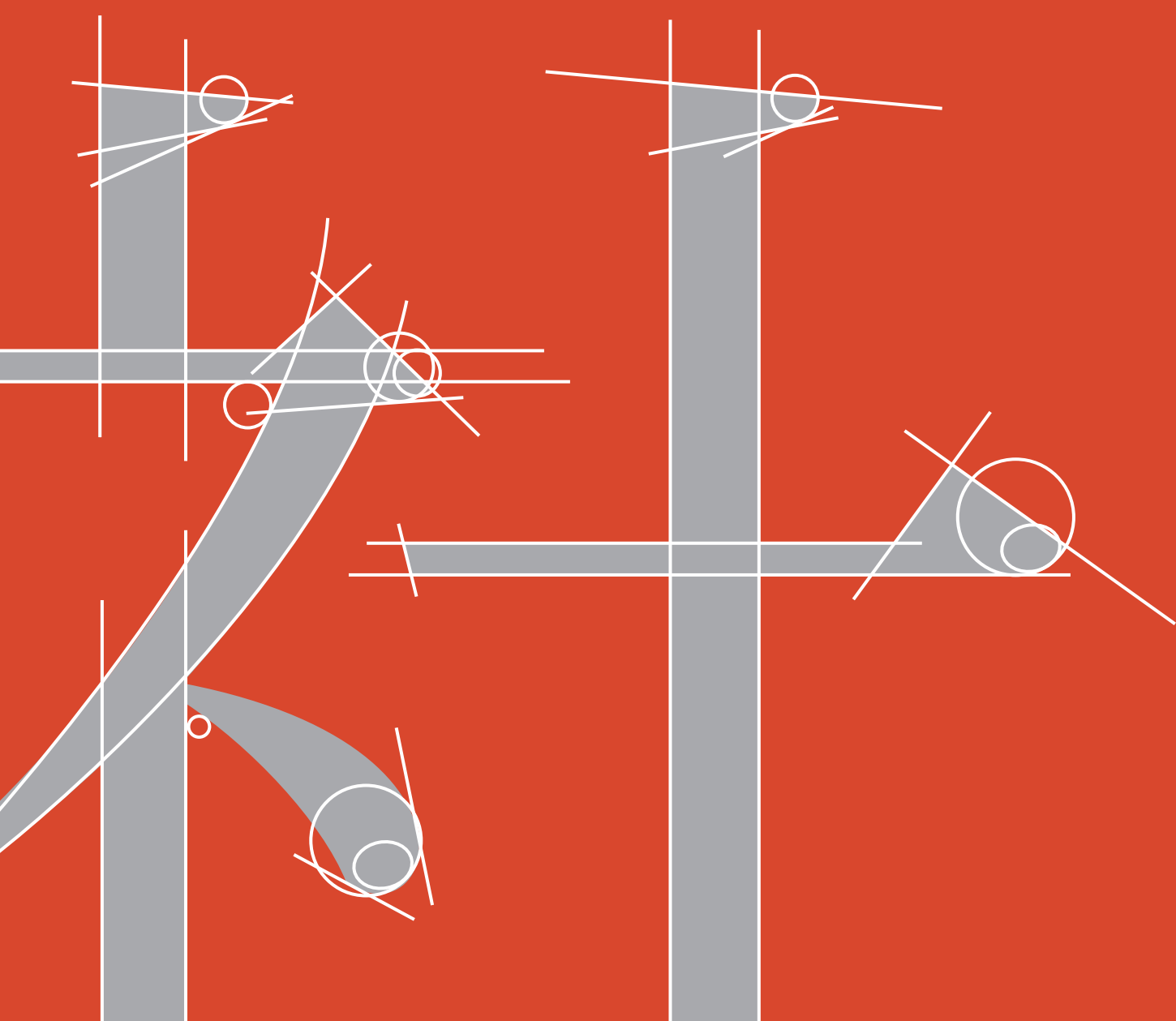




法政大学社会学部

「社会学コロキウム」第33回



“Shagaku” Colloquia
Faculty of Social Sciences
Hosei University

33



法政大学社会学部開設 70 周年記念シンポジウム

日本の外国人労働者 ——受け入れ政策の変遷と現状

基調報告＝ 上林 千恵子（法政大学名誉教授）

報告＝長谷川 翼（労働調査協議会 調査研究員）

コメント [1]＝宮島 喬（お茶の水女子大学名誉教授）

コメント [2]＝惠羅 さとみ（法政大学社会学部教員）

司会＝佐藤 成基（法政大学社会学部教員）

2022 年 11 月 5 日 [土] 14:00～17:00

法政大学多摩キャンパス・社会学部棟 201 教室
＋ Zoom によるオンライン配信

【趣旨】 2020 年から始まったコロナ禍の影響で、日本は外国人の新たな受け入れを中止した。この間、日本で就労する外国人労働者の人数は減少せず、微増であった。増加率が低下しただけである。私たちはインバウンドの観光客として外国人に出会い、留学生として外国人を受け入れている。しかし、およそ 170 万人にも及ぶ外国人労働者はどこにいるのだろうか。日常生活の中で、彼らの就労している姿を見かける機会は意外に少ない。

彼らは高齢化の進んだ地方圏で、また製造現場で働いていることが多い。居住地域も特定の地域に集住している。実際には日本社会で働き、生活しているにもかかわらず、なかなか人目につかない存在としての外国人労働者を、今回の社会学コロキウムのテーマとしたい。「見えないものを見る！」のは社会学部社会学コロキウムの趣旨の適ったテーマであると思う。

主催＝法政大学社会学部学会

参加＝無料（他学部・他研究科・一般の方もぜひどうぞ）

※ 参加を希望される方は以下のフォームからお申込みください。

<https://forms.gle/L5gFSV5gTFppv8929>



※※ 「社会学コロキウム」とは、法政大学社会学部という名の「知的コミュニティ」で開催される、開かれた学びの場。最新の研究成果をもとに共に学びあい、対話する研究会です。すべての法政大学生に開かれています。

問い合わせ先＝法政大学社会学部事務課

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学社会学部事務課気付

TEL: 042-783-2351～2354 shagaku.gakubugakkai@gmail.com

1952 2022
70TH
HOSEI UNIVERSITY
FACULTY of SOCIAL
SCIENCES・1952-2022
社会学部
開設70周年